

「超変換！！もじバケる」新シリーズ 今度はカタカナがチョウヘンカン！！

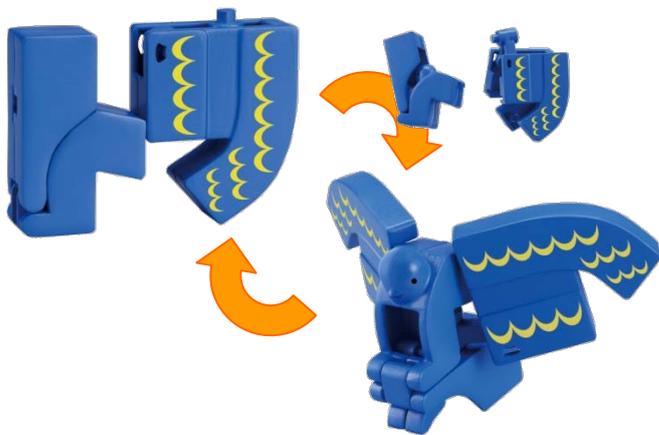
カタカナ⇔どうぶつ できるカナ？

「チョウヘンカン！！もじバケるカナ」
2013年9月2日(月)より順次発売

株式会社バンダイ(社長:上野和典、本社:東京都台東区)は、2010年5月の発売以来、累計1,400万個以上を販売している、“一文字の漢字”を組み換えて立体的な動物に“超変換”することができるオリジナル玩具菓子「超変換！！もじバケる」の新シリーズ「チョウヘンカン！！もじバケるカナ」(全5種[動物5種×各1色]、ガム1個/各210円・税込)を2013年9月2日(月)より、全国のスーパー、量販店、コンビニエンスストアの菓子売場などで順次発売します。(※「超変換！！もじバケる」については次頁参照。)

「チョウヘンカン！！もじバケるカナ」は、「トリ」「サル」「ヘビ」など、動物の名前を表したカタカナを、その動物の形に組み換えることができます。メインターゲットは3歳～5歳の未就学児で、大人のサポートを受けながら小さなお子さま自身で組み換えやすいよう、従来の「超変換！！もじバケる」シリーズに比べ各パーツのサイズを大きくし、組み換えの工程数も減らしました。

年間100万個の販売を計画し、新しいターゲット層へ商品を展開することで、「超変換！！もじバケる」シリーズの市場拡大を図ります。



「ト」「リ」のカタカナを組み換えると…「鳥」の形に“超変換”します。

パッケージイメージ



『チョウヘンカン！！もじバケるカナ』
(全5種[動物5種×各1色]、ガム1個/各210円・税込)

©BANDAI

※本資料に掲載されている画像は開発中のものです。

【「超変換！！もじバケる」シリーズとは】

2010年5月より発売している、“一文字の漢字”を組み換えて立体的な動物に“超変換”することができるバンダイオリジナルの玩具菓子です。コンセプトの面白さや、漢字を遊びながら覚えることができる知育要素が人気となり、小学生男児を中心に、ホビー好きな大人まで幅広い層から支持を得ている商品で、シリーズ累計販売数は1,400万個を突破しました。また、国内だけでなく、海外からもデザイン性の評価が高く、2011年にはバンダイ商品・玩具菓子として初めて、ニューヨーク近代美術館の永久収蔵品(MoMA Collection)として認定されました。



【バンダイの菓子事業について】

バンダイは、1981年に玩具菓子市場に参入。菓子・食品の美味しさと楽しさを創造する“フードエンターテインメント”の創出を目指して、キャラクターマーチャンダイジングのノウハウを生かした商品を展開しています。

玩具菓子市場におけるトップメーカーであることにとどまらず、純菓子、食品分野などにフィールドを積極的に拡大し、着実に実績を伸ばしています。今後も、豊富なキャラクター展開とトレンド創出で進化を遂げていきます。

【商品概要】

商品名	「チョウヘンカン！！もじバケるカナ」	価格	210円(税込)
種類	全5種類(トリ・サル・ヘビ・リス・ゾウ)	商品内容	プラスチック完成品一式、ガム1個
パッケージ サイズ	65mm(H)×105mm(W)×25mm(D)	原材料名 (菓子)	砂糖、ブドウ糖、水飴、澱粉、ガムベース、糊料(加工澱粉、アラビアガム)、酸味料、香料、クチナシ色素、光沢剤
販売ルート	全国のスーパー、量販店、コンビニエンスストアの菓子売場など		

「超変換！！もじバケる」ホームページ：<http://www.bandai.co.jp/candy/mojibakeru/>
「チョウヘンカン！！もじバケるカナ」ホームページ：http://www.bandai.co.jp/candy/mojibakeru_kana/
バンダイホームページ：<http://www.bandai.co.jp/>